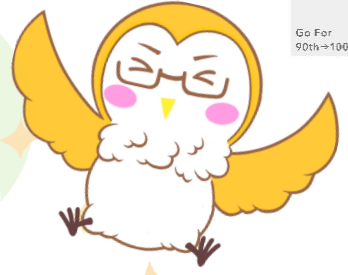


今月の

おすすめ!

講座



江北歴史講座

# 五色桜をめぐる近年の歴史

戦後に衰退してしまった荒川堤の五色桜を復活させる活動や、近年行っている五色桜を介した日米交流についてお話いただき、地域の歴史を学びます。



都市農業公園の五色桜とNPO法人五色桜の会の会員他  
(2022年4月)

江北歴史講座

## 五色桜をめぐる近年の歴史

それは、昭和27年の「里帰り桜」から始まりました。

11/26(土)  
午前10時～11時30分

990円

30人

16歳以上

講師紹介



江北村の歴史を伝える会  
会長 浅香 孝子氏



荒川五色桜を復活する会  
会長 清水 正嗣氏

他、足立区パークイノベーション推進課 課長 金澤 大輔氏  
もお招きします。

### 五色桜の数奇な運命

明治19(1886)年、のちに江北村の村長となる清水謙吾の尽力で、江北から鹿浜までの荒川堤に78種類3,225本の里桜が植えられました。24年後の明治43(1910)年には、明治天皇の3皇孫が御観桜されるほどの桜の景勝地となり、多くの方がお花見に訪れました。

ところが、明治43年の荒川の大洪水を機に、大正2(1913)年から荒川放水路開削工事が始まり、五色桜は伐採の憂き目に遭遇します。その後も、戦争、公害の影響で、荒川堤の桜は全滅の危機に瀕しました。

### 東京からワシントンD.Cへの桜寄贈

一方、明治45(1912)年、日米友好のシンボルとして東京からワシントンのポトマック公園に約3,000本の桜が寄贈され、その際の穂木に荒川堤の五色桜が選ばれました。五色桜がアメリカに寄贈されて今年で110年となります。毎年春には美しい桜が咲き、現在も桜を通して日米の交流が行われています。

### 講座のテーマ

今回の講座のテーマは、昭和27(1952)年にワシントンの桜の穂木を採取し、足立に里帰りした五色桜についてです。長きにわたって足立の五色桜の保護と日米桜交流にご尽力されている講師陣をお招きし、足立区が誇る五色桜の復活の物語と、近年の五色桜についての活動をお話いただきます。